

研究対象者募集のご案内

[内容に関するお問い合わせ先・書類宛先]
〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1
TEL 0422-47-8000(内線 1204・6330)
研究責任者 杏林大学保健学部臨床検査技術学科
原島敬一郎

現在、当研究室の「生理機能検査学/解析検査学」グループでは、
「浮き趾を含む足底接地不良とバランス保持機能および下肢筋肉の客観的評価における検討」を
課題に研究を行っており、研究対象者を募集しております。

研究課題名	浮き趾を含む足趾接地不良におけるバランス保持機能と 下肢筋活動の客観的評価に関する研究
対象者の概要	対象：杏林大学学生および大学院生(20 歳以上)
研究の概要	浮き趾(うきゆび)があると、足趾の接地状態が悪くなり安定した支持基底面が確保できないため、バランス保持の悪化や非効率な歩行になることが考えられます。環境省が実施しているエコチル調査において、8歳児における足の浮き趾の頻度は96.7%であることが報告されており、成人の多くも足底の接地不良を有していると考えられます。そのため、この研究ではバランス保持や歩行に関与する下肢筋肉を指標とした浮き趾を含む足底接地不良の客観的評価の確立を目指しています。この客観的評価が可能になれば、浮き趾の矯正などによる無理のない姿勢維持など理学における臨床分野に留まらず、高齢者にみられる転倒の予防に関わる分野における研究の推進を促すことができますと考えています。この研究では研究内容にご賛同いただき、研究対象者として測定にご協力を頂ける方を募集しております。測定項目は下記になります。 ① 足底と床面の接地状態(透明の板の上に直立して接地状態画像を PC に取り込みます。 ② 足アーチ(土踏まず)の観察(足底と床面の接地状態を観察の際に行います) ③ バランス保持機能の観察(片足を上げて、もう一方の足を前後左右に動かしていただきます) ④ 姿勢維持や歩行に関係する下肢筋肉やその周囲組織(血流、筋膜および腱など)の観察と測定(超音波診断装置と筋硬度計を使用して行います)。超音波検査は研究対象者と同性または女性が実施します。 ⑤ 筋硬度の測定(筋硬度計を使用して行います) ⑥ 基本情報：年齢、性別、身長、体重、足底面積 筋疾患、神経疾患の有無と、その既往 ご注意：上記疾患および既往ある方は本研究に参加できませんのでご了承ください。
測定時間	1回の測定は途中の休憩も含めて 60～90 分程度で終了します。 ご協力していただける方のご都合などにより測定開始時間は調整させていただくことがあります。
研究期間	2026 年 10 月 14 日 ～ 2028 年 3 月末
謝礼	あり ・ なし
申し込み方法	■メールまたは右の QR コードから応募申し込みをお願いいたします。 メールアドレス：kharashima@ks.kyorin-u.ac.jp 申込みアンケートフォーム メールでの申し込みは本文へ下記の①～③をご記載ください。 ① 氏名 ② 連絡先(メールアドレス) ③ 希望する曜日・時間帯など ※連絡をいただきましたら、折り返しご連絡をいたします。  https://forms.office.com/r/GnTSDptfS